

10/22
 八地申
 第10号

2021年度営業関係施策（その2）に関する申し入れ

2021年6月4日、八王子支社より「2021年度営業関係施策（その2）」の提案を受けました。その中で西国分寺駅については「10月31日に出札窓口の営業を終了」「12月1日から駅業務を（株）JR中央線コミュニティデザインへと委託する」という内容が示されました。

10月20日に八地申第9号「2021年度営業関係施策（その2）に関する解明申し入れ」団体交渉が開催されましたが、誰のための施策であるのか、この施策を実施することで西国分寺をご利用するお客様、西国分寺で勤務する社員の幸福の実現につながるのか、については具体的に回答がなされませんでした。

さらに、西国分寺駅には2014年2月1日からライフサイクル深度化施策による異動対象駅として拡大され、今も5名が業務を行っています。ライフサイクル深度化施策によって運転士から西国分寺の駅輸送職へと異動した社員に対し「業務委託後は乗務線区の他駅で職務手当のつく業務を行ってもらう」と発言したことについては、会社施策を担ってきた社員の努力を軽視した発言であり認めることはできません。

西国分寺駅や新小平駅、北府中駅をご利用になるお客様がサービスレベルの向上を実感でき、西国分寺駅で働く社員が不安なく業務を行い「西国分寺駅で働いて良かった」と感じられる労働環境の構築が必要です。したがって、下記の通り申し入れを行いました。

1. 施策実施に伴う異動及び出向が発生することから、10月末までに個人面談を行い異動先や出向の有無について本人に示すこと。
2. 個人面談において異動先の担務及び作業ダイヤを示すこと。また出向先の年間休日数や担務及び作業ダイヤ等の労働条件、さらに福利厚生等を具体的に示し、社員の希望を丁寧に把握すること。
3. 施策実施に伴う異動・出向は本人希望を最優先とし、必要以上の若年出向を行わないこと。出向する場合は「労働条件に関する協約」に則り原則3年以内とすること。
4. ライフサイクル深度化施策により運転士から西国分寺駅へと異動した社員については、異動元の運転職場へ戻すこと。
5. 作業ダイヤについては社員の意見を反映し働きがいの実感出来る作業ダイヤとするよう指導・監督すること。
6. 駅業務執行に必要な設備・備品は、社員の意見を反映し働きやすい職場環境にするよう指導・監督すること。
7. 施策に伴う異動者の不安を無くし、安全・サービスレベルを維持・向上できる駅業務体制とする為に、委託会社においてもこれまでと同様に必要な教育・訓練の年間計画を立てて実施すること。
8. 業務委託後も個人にタブレット端末を支給し、案内業務や規則規定の閲覧及び情報共有の出来る環境にすること。また、立ち番用のタブレットを2台用意すること。
9. 西国分寺駅だけでなく、すでに窓口の営業を終了している新小平駅・北府中駅をご利用のお客さまにご不便をお掛けすることから、みどりの窓口の営業を終了しないこと。
10. お客様の利便性向上の為、改札内に指定席券売機を設置すること。また改札内外にそれぞれ1台ずつモバイルSuicaのチャージ機を設置すること。
11. 通勤時間帯に乗降終了合図を確認せずドア閉扉する事象が発生していることから、お客様の安全を守る為業務委託後もホーム立ち番を残すこと。また、運輸部と連携しホーム上の安全確保に努めること。
12. 管理駅として指定される府中本町駅の負担が増大する事から、府中本町駅の体制強化のため輸送職を1徹増とすること。また、新秋津で行われる線路閉鎖等が発生することから必要な教育・訓練を行い、不安を解消すること。
13. 2021年度営業関係施策（その2）実施後、施策実施にともなう成果と課題を労使で検証し、著しく安全レベル・サービスレベルが低下したと思われる場合、契約不履行として業務委託を見直し本体運営とすること。

安全・サービスレベル向上、働きがいが実感出来る施策を創り出そう